

2026 年 9 月 7 日

各 位

会 社 名 フィットイージー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 國 江 仙 嗣
(コード番号: 212A 東証プライム・名証プレミア)
問 合 せ 先 常務取締役経営管理本部長 藤 原 祐 次
TEL.058-215-8744

「AI ヘルスケアオートメーション」に関する特許査定受領のお知らせ

当社は、「AI ヘルスケアオートメーション」に関する特許出願について、特許庁より特許査定（※1）を受領いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。



AIとデザインする、最適なウェルネス体験。
AIトレーナーが、会員様一人ひとりに合わせた最適な提案を行います

運動 食事 睡眠

店舗×FEアプリで
考えなくても健康になれる世界＝「健康の自動化」を目指す！

＼アプリひとつで健康管理がまるごと完了！／

FEアプリ
なりたい自分を目指す
F.Eアプリ 健康を管理
トレーニングメニューや食事管理をアプリでサポート。

※1 特許査定

特許庁の審査で特許権を与える価値がある出願発明であると判断されたことを示すものです。
この後に特許料を納付することによって特許権の効力が発生します。

1. 本件の概要

当社は、AI を活用したヘルスケア領域における健康管理システム「AI ヘルスケアオートメーション」について特許出願を行っていましたが、この度、特許庁より特許査定を受領いたしました。本お知らせ時点における本特許の状況は、特許査定を受領し、特許料を納付済み（特許番号付与前）であり、特許番号につきましては 2026 年 11 月頃に付与される見込みです。特許番号の付与が完了次第、確定情報を改めてお知らせいたします。

2. 本特許の概要

本技術は、施設内カメラの映像から「誰が」「どのようなトレーニングを行っているか」を自動で認識・記録し、AIを介することで、個々のユーザーに合わせた適切なアドバイスを生成・携帯端末（スマートフォン等）へ送信する健康管理システムです。

① 自動認識・データ記録機能

生体認証による自動特定	予め登録された生体情報に基づき、カメラ映像に写るユーザーを特定します。
動作・マシンの動きの認識	カメラ映像から、トレーニングマシンの動きおよびユーザー自身の体の動き（動作）を認識します。
エリア・マシン種別の自動特定	トレーニングマシンの配置エリアと種類があらかじめ登録されており、ユーザーの位置情報から「どのマシンでトレーニングを行っているか」を特定して運動データを自動記録します。

② AIを活用したアドバイス生成・通知

AIによる「健康管理助言モデル」を用い、多様なデータを入力して最適なフィードバックを出力・送信します。

入力データの範囲

映像・運動データ	・ユーザーの顔、体の動き・軌道・速度、トレーニングの種目、回数
身体データ・目標	・体重、体脂肪率、筋肉量、骨量、内臓脂肪レベル、ユーザー設定の目標
ライフスタイルデータ	・摂取カロリー（食事）、運動消費カロリー、睡眠時間

出力アドバイスの内容

トレーニング指導	・種目、回数、負荷（予定）、動きの速度（予定）、フォームに関するアドバイス（予定） ・運動データのフィードバックに応じた提案
ヘルスケア提案	・食事内容の提案（予定）、睡眠内容の提案（予定）

③ 多角的な権利化スキーム

本技術は、システム（装置構成）にとどまらず、処理フローを規定した「健康管理方法」およびコンピュータを実行させる「健康管理プログラム」の両形態で権利範囲をカバーしています。

3. AIヘルスケアオートメーションの概要

当社では、AIヘルスケアオートメーションの仕組み（※2）による「健康の自動化」と「なりたい自分」を叶えるためのフィットイージーアプリを提供しております。当アプリは、単なる身体的な健康づくりにとどまらず、食事や睡眠領域まで幅広くカバーした包括的な「ウェルネスアプリ」として位置づけております。運動・食事・睡眠の観点から会員様一人ひとりに最適化された健康管理を提供し、利用者にとってのウェルネスの実現や「なりたい自分」の達成がより身近なものになるよう、今後も継続的にサービスを拡充してまいります。これにより、新たなライフスタイルの提案やトレーニ

ングの継続性、顧客満足度の向上へ繋げてまいります。

※2「なりたい自分」を叶えるための、知→導→整→活→評のサイクル



知：自分を知る（AI 顔認証体組成計でカラダの状態をチェック、未来のカラダは今日の記録から）

導：AI によるトレーニングメニュー生成（目標や計測データに合わせ、AI が最適なプランを提案）

整：準備を整える（コンディションを整え、運動効果を最大化する）

活：生活に活かす（AI が提案したプランを実践。トレーニングはもちろん、食事や睡眠の質も高め、ライフスタイルそのものをアクティブに）

評：ふりかえりで、成果を確かめる（アプリで活動記録をふりかえり、今の行動を未来の目標へつなげる）

4. 今後の展開

当社は、今回の特許査定を、AI ヘルスケアオートメーションの継続的な開発・展開を支える重要な基盤の一つと位置付けております。

AI ヘルスケアオートメーションによる分析・提案と、店舗における運動環境およびスタッフによるサポートを組み合わせることで、デジタルとリアルの双方の特長を生かしたトータルウェルネスサービスの提供を目指します。また、アップデートによる会員向けアプリの持続的な利便性の向上を図り、利用シーンの拡大に努めてまいります。

本技術に関する知的財産の適切な管理および活用を通じて、サービスの独自性を高めるとともに、継続的な研究開発の推進に取り組んでまいります。今後も、会員の皆様にとって利用しやすく、継続しやすいサービスの提供を通じて、ウェルネスの実現と健康的な生活習慣の形成に貢献してまいります。

以 上